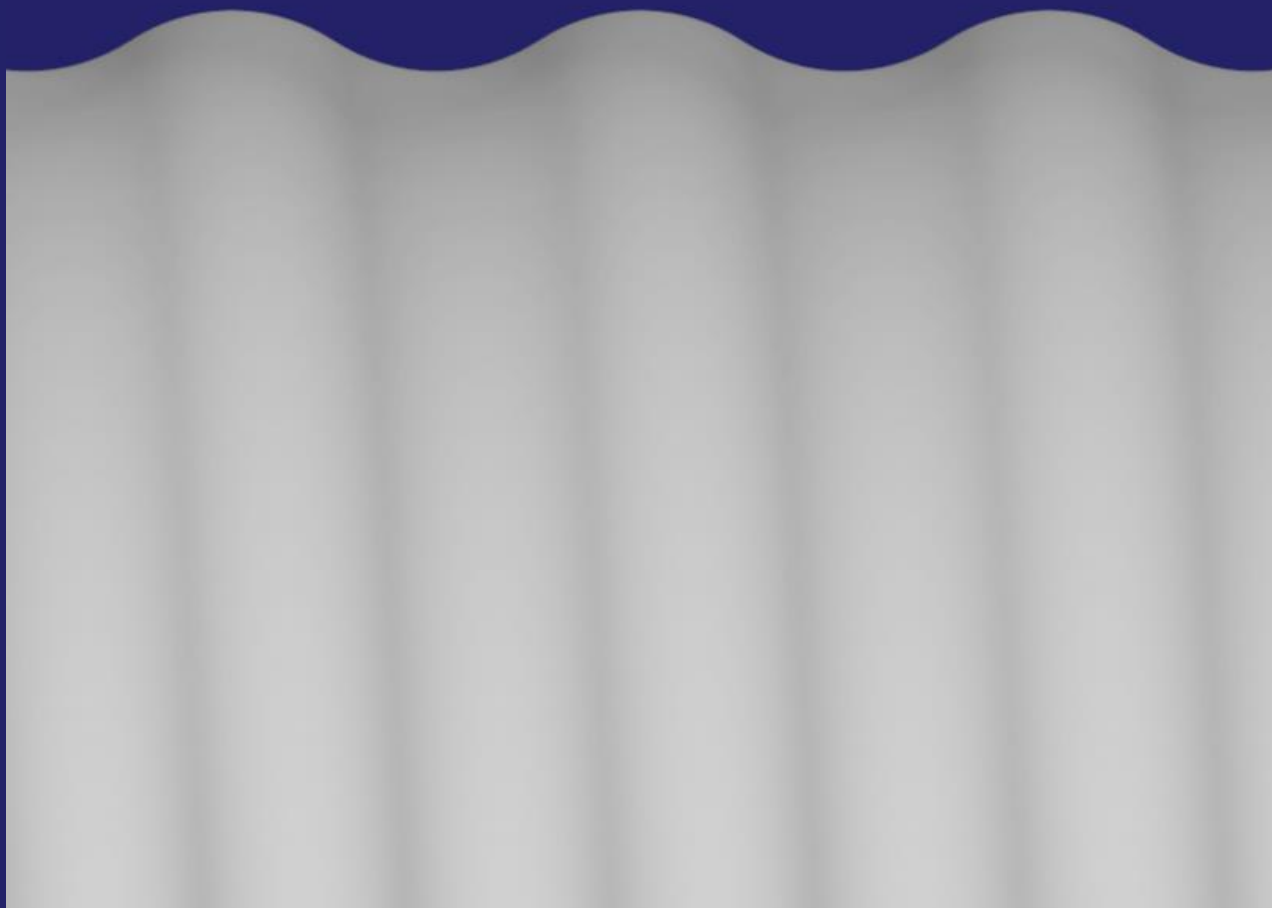




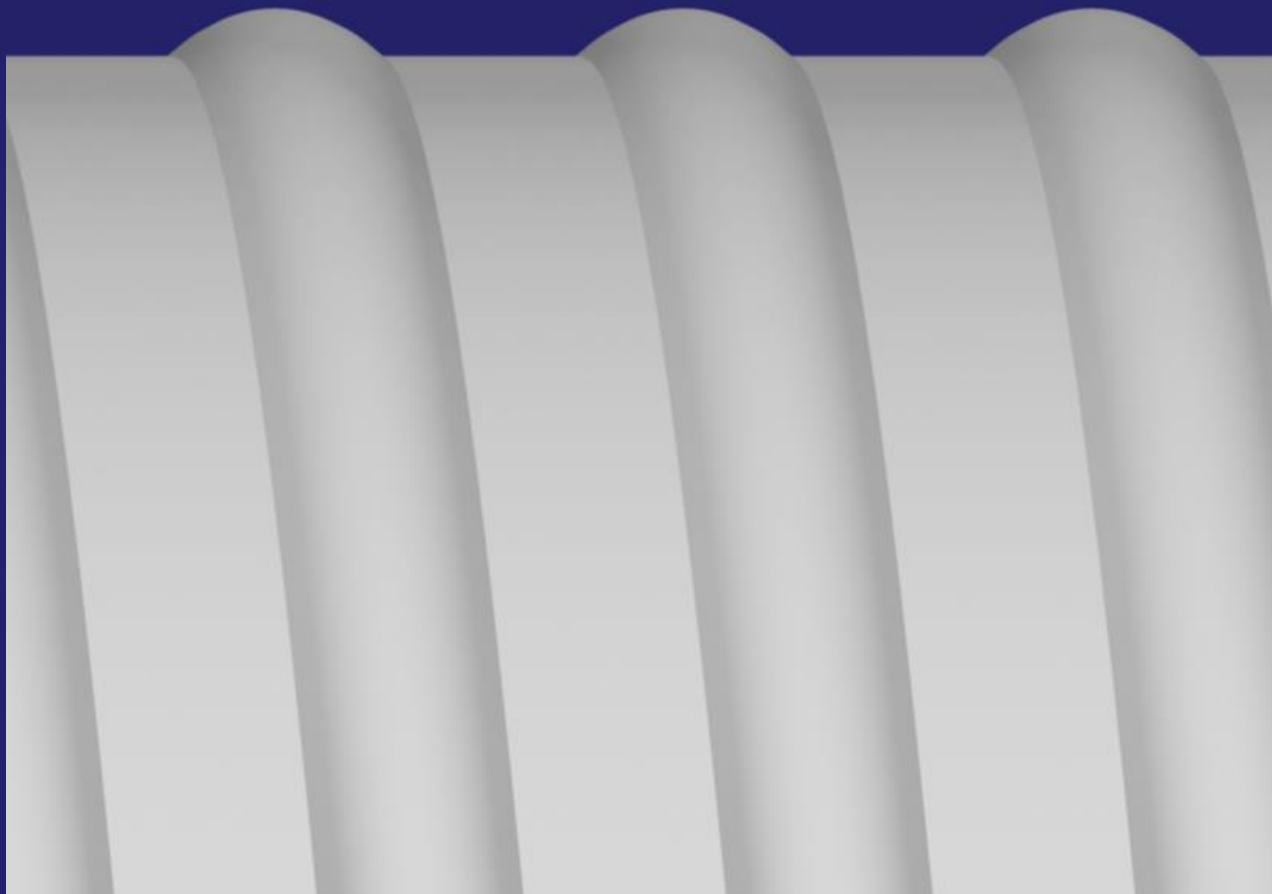
OSGワイヤーレスバー
溝形状ラインナップ



OSGワイヤーレスバーの標準（スタンダード）溝形状です。

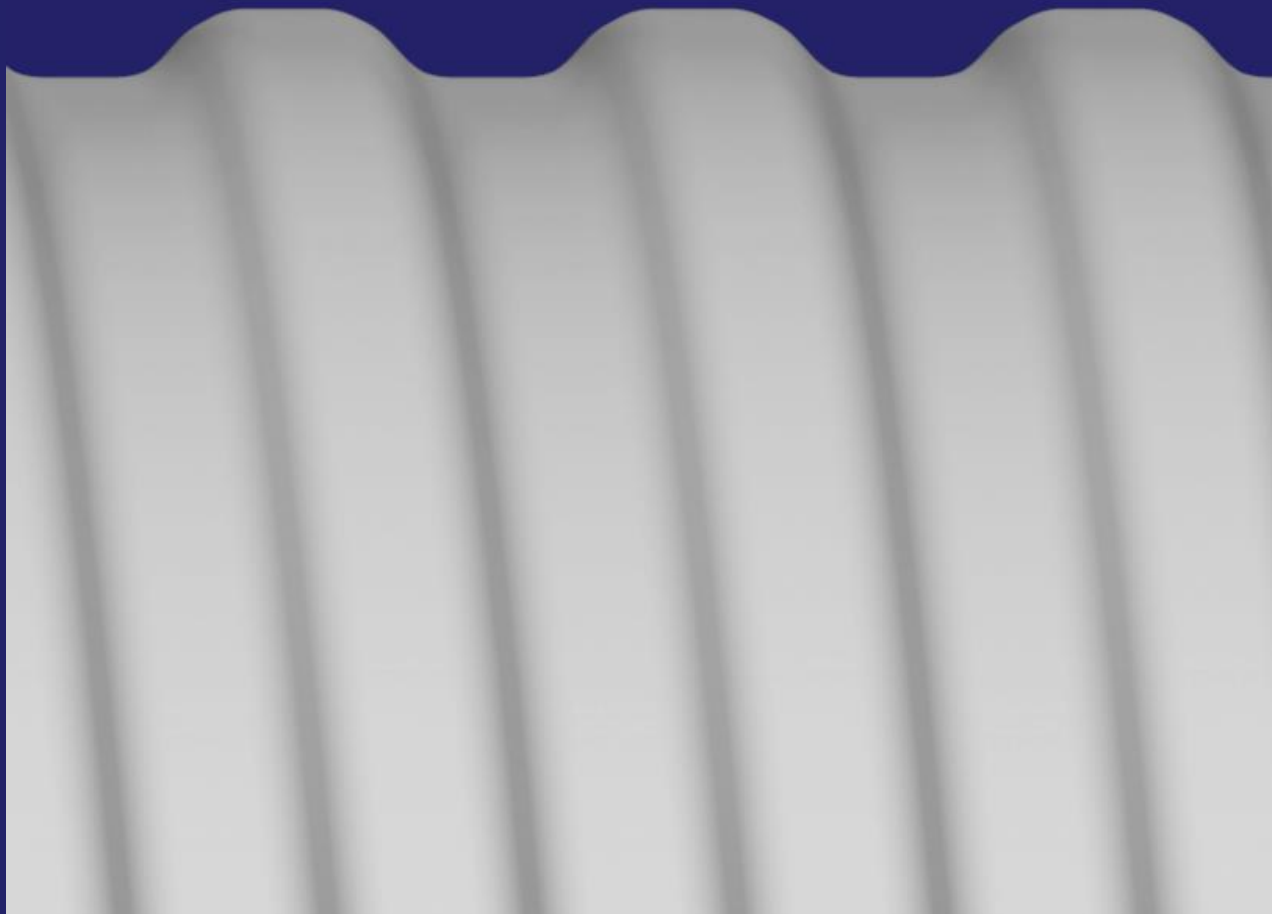
溝山頂と溝底部をR形状で設計することで、ワイヤーバーで問題となる塗布液中の固形分による目詰まりを低減します。

溝形状を成型する金型保有数が最も多く、採用事例も一番多い仕様となっています。



特殊形状

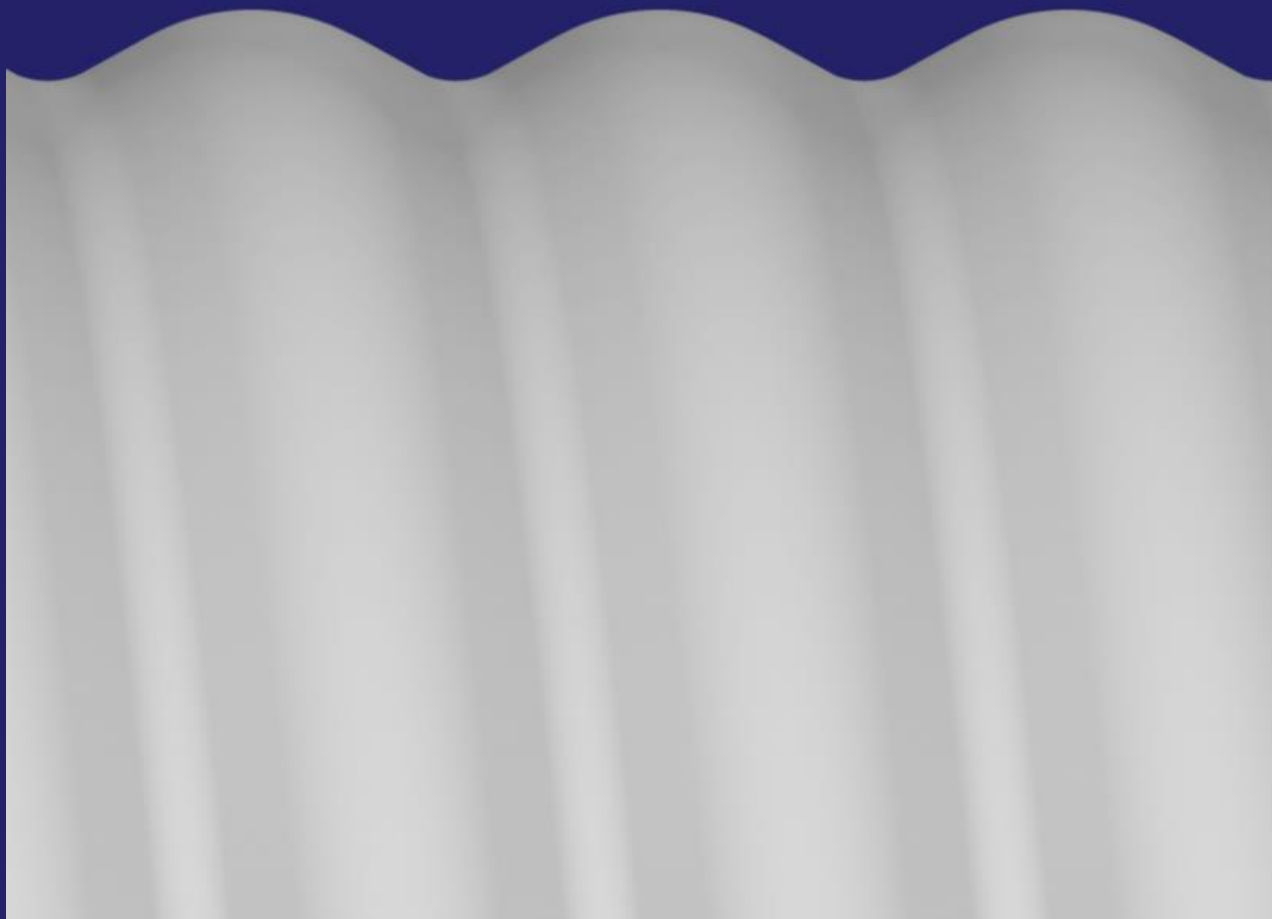
溝底部にフラット部を設け、液の平滑性（レベリング性）の向上を狙った溝形状です。
比較的、粘度が高めで、塗布量が多い塗布事例に採用されています。



特殊形状

溝山頂にフラット部を設け、初期摩耗の低減を狙い、長寿命化を目的とした溝形状です。
塗布時に大きな摩耗を引き起こしやすい塗布事例に採用されています。

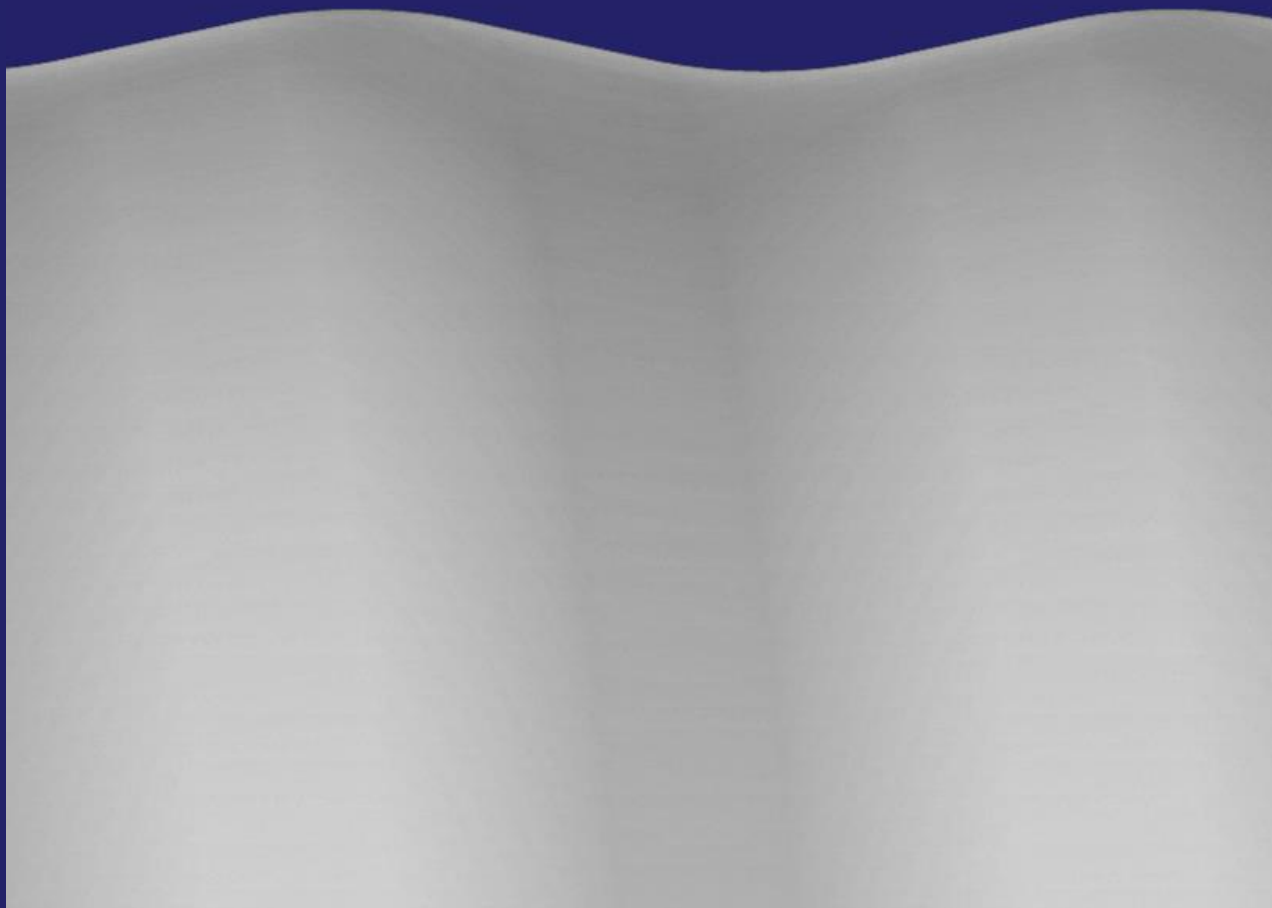
■ R-Max(RS)形 特殊形状



特殊形状

S形（スタンダード）形状に対し、溝山頂のR形状をより大きくすることで、初期摩耗の低減を狙った溝形状です。また、ワイヤーバー溝山頂のR形状も意識し、ワイヤーバーでの塗布環境において、置き換え・切り替えをし易い可能性を考えた仕様です。

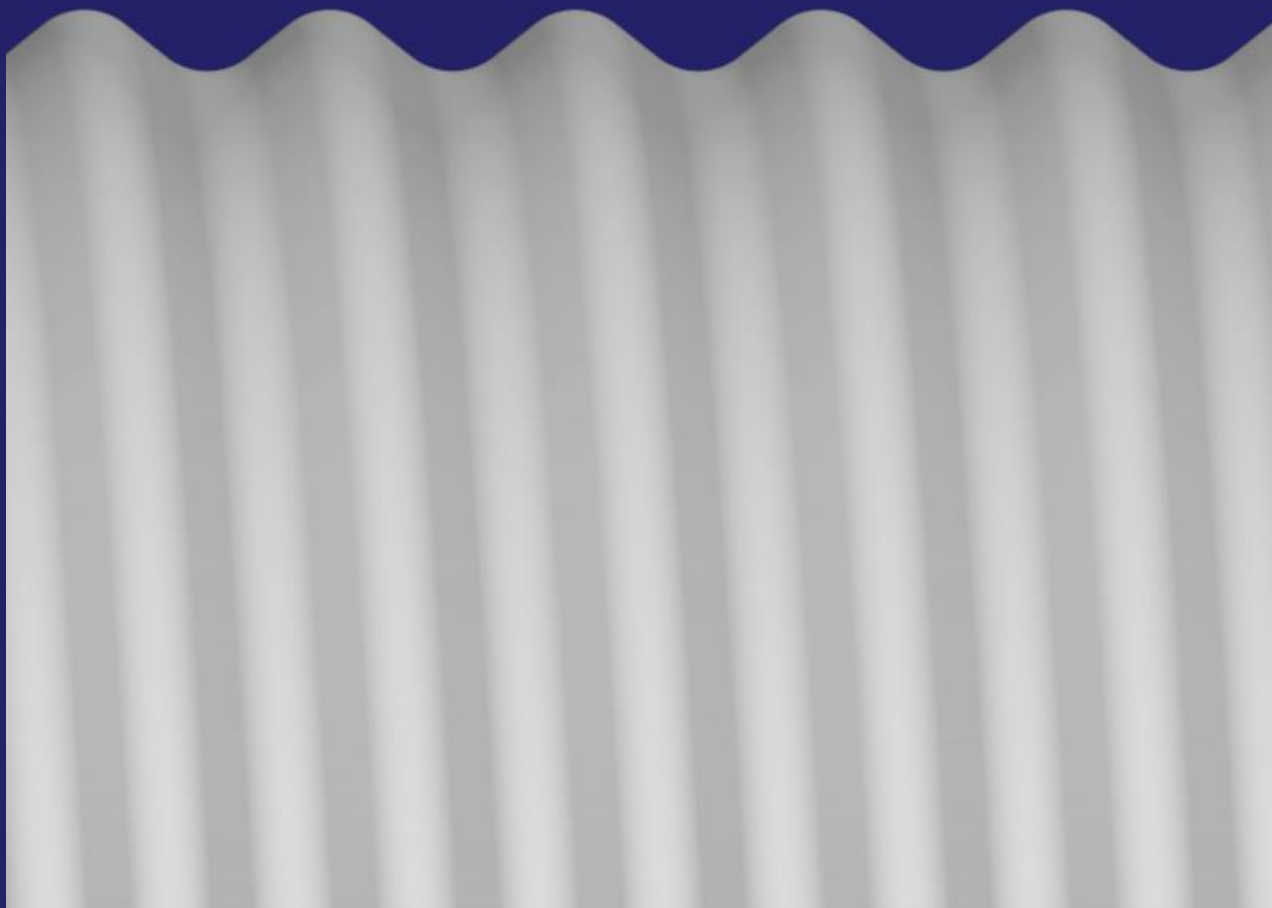
■ WP (ワイドピッチ) 形 特殊形状



特殊形状

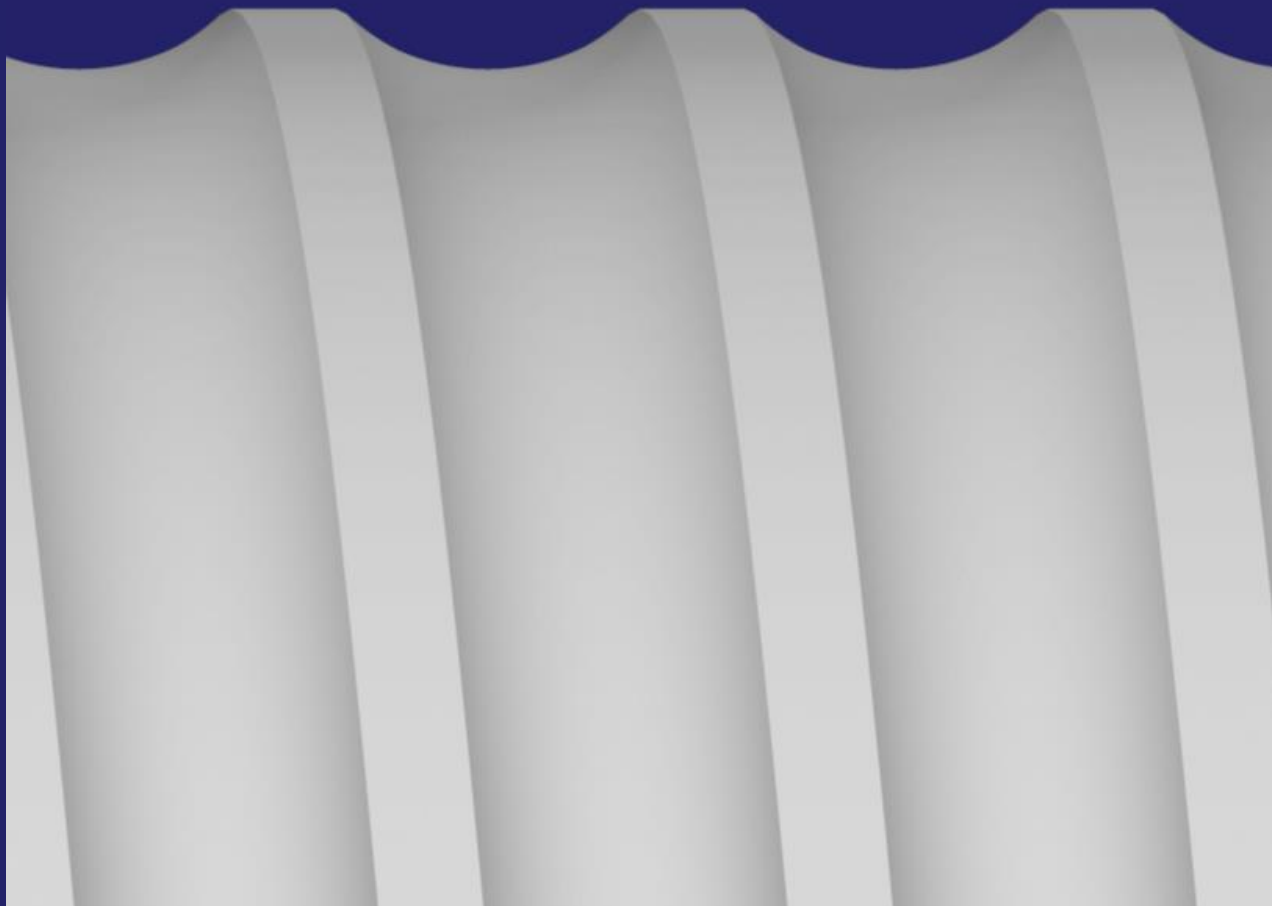
溝間の長さ（ピッチ）を広げ、溝深さも浅く抑えた溝形状となっており、液の平滑性（レベリング性）の向上を狙った仕様です。S形（スタンダード溝形状）と比較しても、洗浄性の向上も見込まれます。

■ NP（ナローピッチ）形 特殊形状



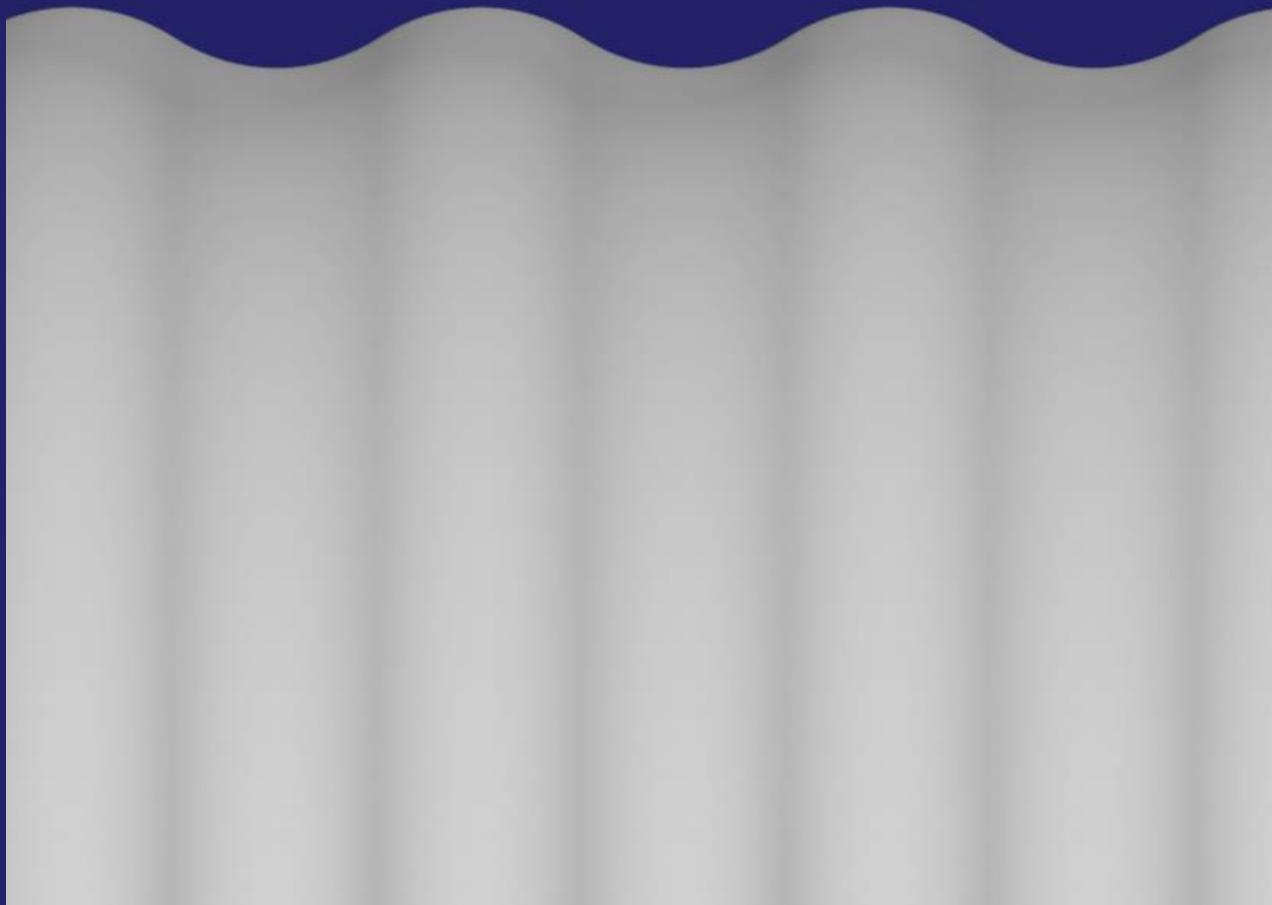
特殊形状

溝間の長さ（ピッチ）を狭くし、非常に薄い基材、基材のテンションを張り切れない環境などを考慮し、基材の支える点を多くすることを狙った溝形状です。



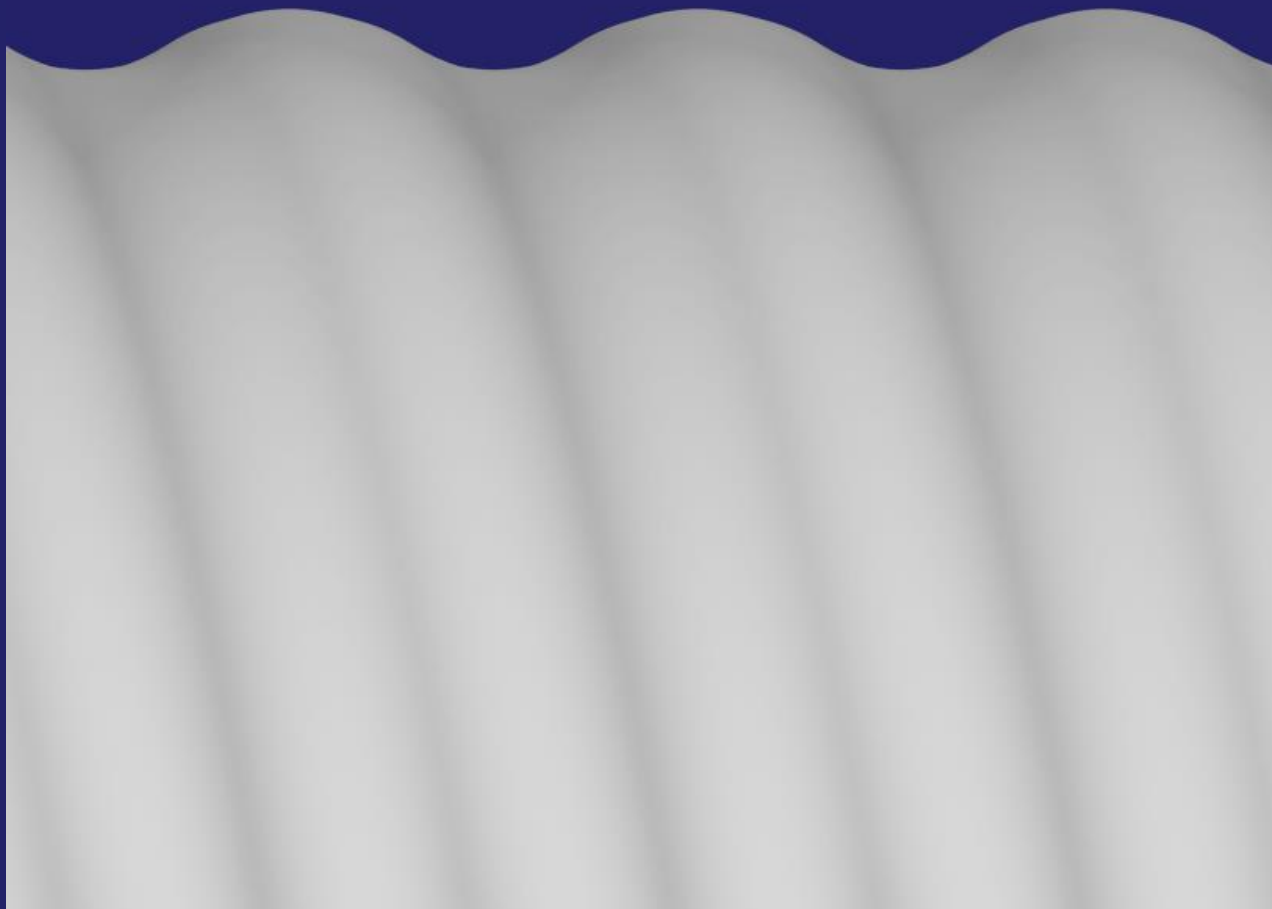
特殊形状

溝山頂にフラット部を設け、溝底部にR形状を組み合わせた溝形状です。



特殊形状

溝の一つ一つが完全に独立している溝形状です。溝が螺旋状になっていないので、端部からの異物の混入を防ぐことを狙った仕様です。

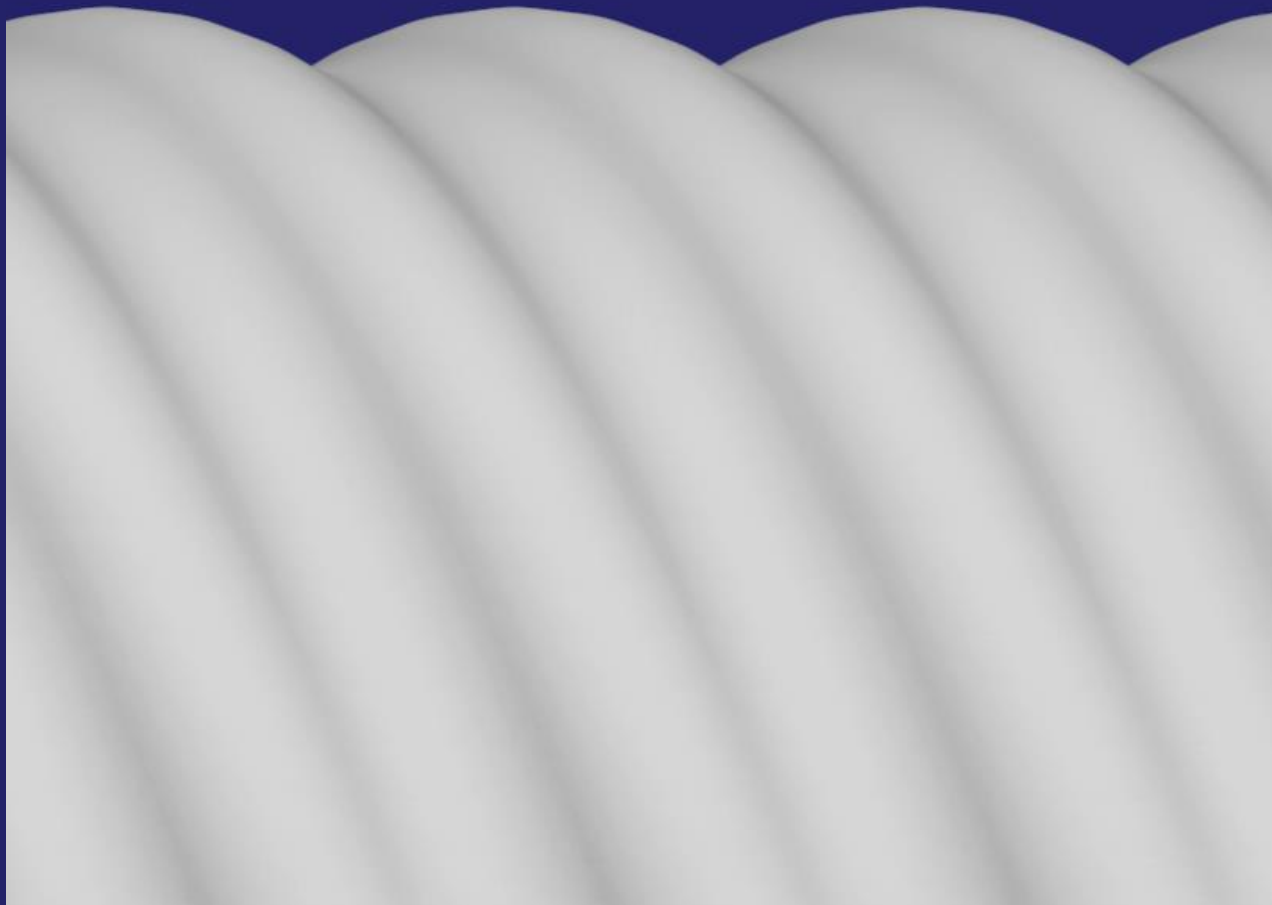


特殊形状

角度をつけることで、塗布時のピッチスジ（縦スジ）の低減と異物の抜け出しが早くなることを狙った溝形状です。また、使用用途においては、S形スタンダードではスジが残ってしまう場合でも、スジなく塗布できる可能性のある仕様です。

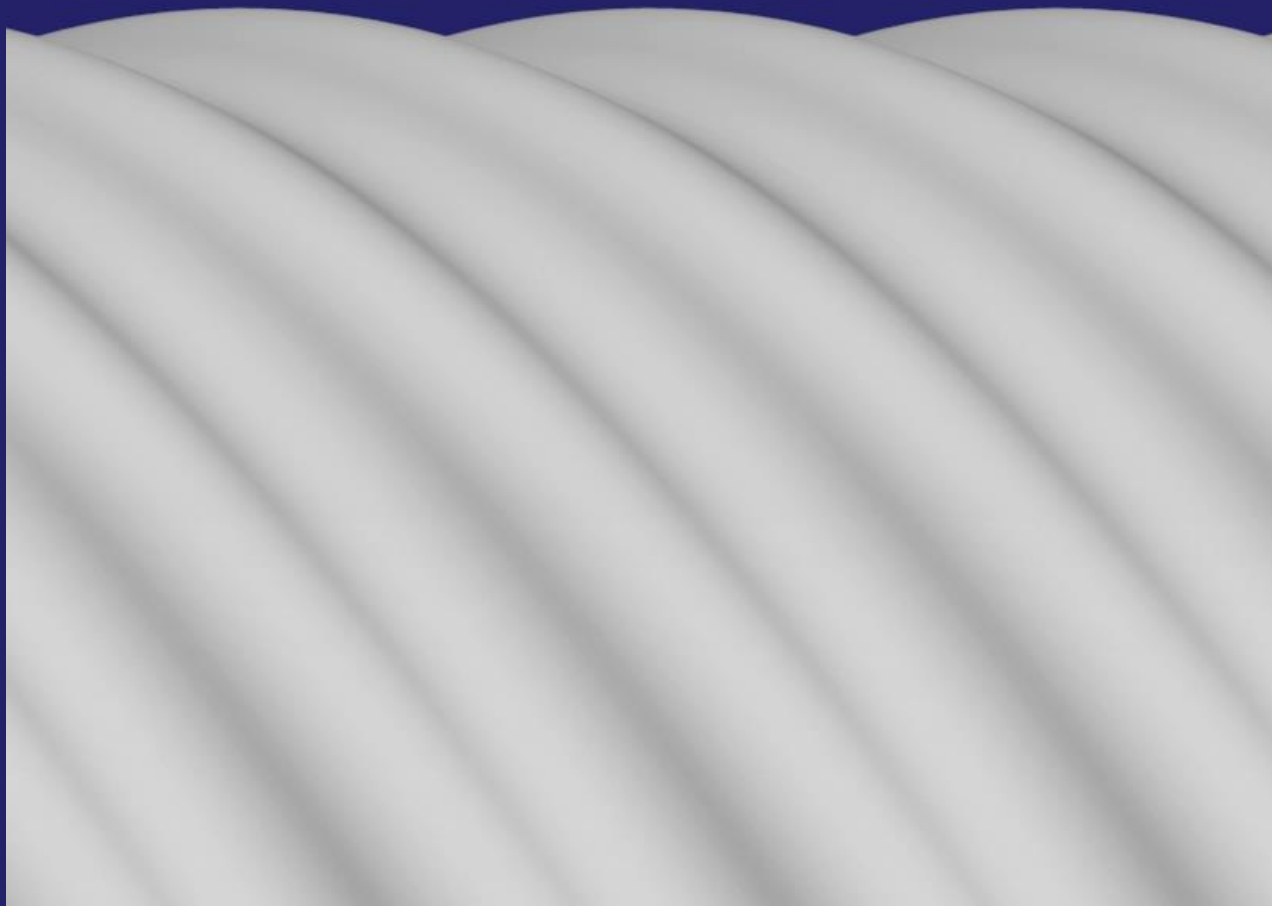
■ 30°

特殊形状



特殊形状

角度をつけることで、塗布時のピッチスジ（縦スジ）の低減と異物の抜け出しが早くなることを狙った溝形状です。また、使用用途においては、S形スタンダードではスジが残ってしまう場合でも、スジなく塗布できる可能性のある仕様です。

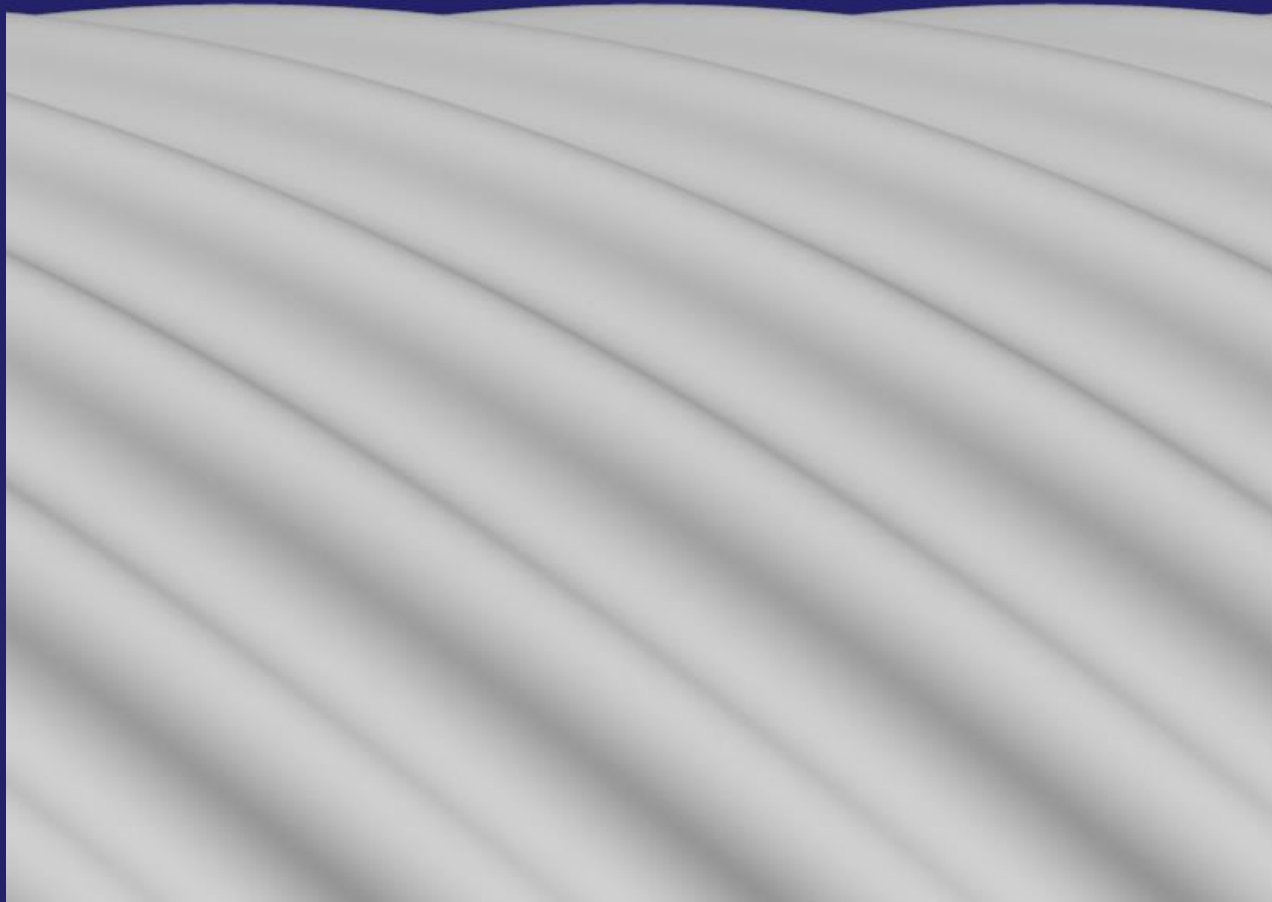


特殊形状

角度をつけることで、塗布時のピッチスジ（縦スジ）の低減と異物の抜け出しが早くなることを狙った溝形状です。また、使用用途においては、S形スタンダードではスジが残ってしまう場合でも、スジなく塗布できる可能性のある仕様です。

■ 60°

特殊形状



特殊形状

角度をつけることで、塗布時のピッチスジ（縦スジ）の低減と異物の抜け出しが早くなることを狙った溝形状です。また、使用用途においては、S形スタンダードではスジが残ってしまう場合でも、スジなく塗布できる可能性のある仕様です。